

□ 随筆 □

# 神戸に 想う

岡崎 忠  
え・津高一

さわやかな新春を迎えた。よき年であれかしと  
神に祈る。

枝高く神の初鶏諷ひけり

古僊

今年はトリ年である。エトは、元来、季節や年  
月をさし、深い意味をもつものではないが、それ  
を意味づけて今年はどんな年になるだろうかとか考  
えてみるのも、楽しい新春の遊びである。

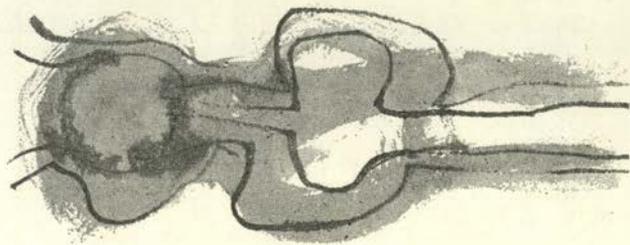
トリ年のトリは夜明けをしらせるニワトリであ  
る。ニワトリは人類に飼いならされてから四千年  
になる。古代の先祖たちは、朝を告げるニワトリ  
を太陽の使者とつけとっていただろう。

むかし、天照大神が天ノ岩戸にかくれたまい、  
高天原はすっかり暗くなった。そこで八百万の神  
が相談されたすえ、岩戸のそばで祝詞を奏し、外

にでたまうことを懇願した。天照大神が岩戸のす  
きまから外をうかがいたもうたとき、ニワトリは  
その黎明をいちはやく感じとり、歓喜の声をもっ  
て神々に報告した。それ以来、ニワトリが朝を告  
げるトリとして八百万の神に寵愛せられるようにな  
ったともいわれている。

ニワトリがそれほど縁起のよいトリならば、今  
年はきつとよい年になるであろう。

天照大神を生みたまうたイザナギ、イザナミの  
二神が、国造りの命をうけて、天ノ浮橋に立ち又  
ポコをかきまわしてできた最初の島が、オノコロ  
島すなわち淡路島である。したがって、淡路島は  
神のふるさとであるとともに、雲のうえの神話と  
地上の歴史との接点でもある。



時がたち歴史がまわって、現在は淡路島にどんな変化がおきているであろうか。かつては、又ボコ攪伴の跡をとどめている鳴門の渦潮が、観光地としての淡路の名声を高からしめるゆえんであったが、いまや、国際化時代の日本にふさわしく、関西新国際空港建設が論議されている。

わが国の民間航空輸送は昭和二十六年に再開され、その後めざましく発展した。この調子でゆくと、輸送人員は、昭和五十年には国際線で一千万人を超え、国内線で一億五千万人になるといふ。このため、羽田空港、伊丹空港が手狭になってきた。同時に、経済の発展につれて空港周辺が開発され、拡張すべき土地の取得がむづかしくなった。そこで空港の移転が論ぜられるようになったことは、周知のとおりである。

「淡路島に空港を……」という声は、こうした背景をもって澎湃として起ってきた。それによると、淡路島は国際空港に適した条件をもっているという。もちろん反対説はある。技術面に素人であるわたしには、その当否はわからない。

わたしの興味は別である。高天原から天降られた国造り二神が、淡路島に世界と結ぶ門戸としての空港を建設し、これからの日本をつくろうとしておられると思えば、このうえもなく愉快な話題である。

国造りといえば、今様国造りが神戸で行なわれている。須磨の浦に走っているのがよい。白い砂浜から沖へ一真線に走っているものは、奥山の土を運ぶコンベアである。そこから土を船にのせて海を埋めたてようとする、現代版国造りの道具的なものである。

悠久のむかし務古水門（ムコノミナト）で栄えた神戸港に、昭和三十六年ごろから沖待ちという現象がみられはじめた。また、近年入港する船舶はだんだんと大型化し、その数も増加する一方、輸送方法としてはコンテナ革命が到来しようとしている。これにともない、港湾施設の整備拡充が必要となったため、摩耶埠頭、六甲埠頭が造成され、ポートアイランドの建設がなされようとしているのである。

ポートアイランドとは、このような目的のために造られる大人工島である。ここには、官庁、商社、銀行、保険、倉庫など、この島だけで港湾のことがすべてまかなえる施設を誘致する。そのほか、高層住宅をはじめ海洋公園や緑地、ショッピングセンター、娯楽センターをも設けるつもりだから、イザナギノミコトもイザナミノミコトも顔まであらう。

わたしの未来図はさらに展開する。日本の経済成長は世界に比類がない。空に海に世界への窓口として、神戸の発展もきまることがないだろうやがて、淡路空港は発着の飛行機でいっぱいになり、ポートアイランドは船が目白おしとなる。早晩、第二、第三の人工島が必要とならう。そこで思いきって小さき島の島をつくり、空港に海港に昭和百年の長期計画をたてたい。それらの島は緑におおわれ、天然の山と島が人工の島とハーモニーをかもしだす。そこにかかる橋は天ノ浮橋である。この計画が完成するころには、神戸市には公害や人間疎外などの都市化の弊害がなくなり産業と観光をかね備えた世界一の都市ができあがっているであらう。

△神戸銀行会長▽

□ 随 想 □

アジア

新聞

セミナー

畑 専一郎

え・津高和一

色の白い外国の人たちを接待することは、比較的やさしい、といわれる。ニッポンのタタミ、ニッポンのフロ、ニッポンの便所にも、かえって好奇心をもってかれて、ワイワイ騒ぎながら、おもしろがってくれるからだ。

それが、アジアの人たちとなると、ちょっと事情が違ふようだ。

まず国際会議にも参加しよう、という人たちは大体が、その国のエリートばかりである。いってみれば、貴族的な存在で、日ごろから、特権的にかしずかれた生活を送っているのので、気むずかしい点が多い。

それに、みなその国独自の形而上学を持っていて、ひと理屈も、ふた理屈も、こねることが多い貧困と思索の風土のなかで、多年にわたって積み



カ

あげた独特の理屈なので、わたしたちにはとても理解がむづかしい。聞いているほうでは、饒舌としか思えないことも間々ある。

日本新聞協会から、地域開発についてアジア新聞セミナーを神戸で開いてほしい、という話が持ちこまれたとき、いちばん心配したのは、この点であった。なにをレクチャーすればよいか、というもっとも肝心な点については、すでにクアラ Lumpur のセミナーで、うちの稲元編集局長のレポートが大かっさいを博するという実績があったので心配はしなかった。しかし、会場が神戸を離れて、播州や淡路に移ったとき、いやでも日本式生活に我慢してもらおうほかないので、このときに文句が出ないかと心配した。

結果からいえば、心配は全部杞憂に終わった。

それのみか、この種の国際会議には期待しにくい親近感——表現は適当でないが、一夜をともにした男と女のような親しみさえ残った。多くの経験からしても、まるで異例のものである。

インドの代表は、往復の運賃さえみなさんで持つてもらえるなら、インド滞在中のおもてなしは一切自分のほうでお引き受けする、という申し出をお別れの会で行なった。

セイロン代表の、色のまっ黒い科学記者は、「ハタさんの意見がききたい」「ハタさんの意見がききたい」と、異常なくらいにボクにまとわりついた。

色がまっ黒だと、年齢もわかりにくい。そんな場合は、歯をみて、歯のちびぐあいや年齢を想像するという手もなかった。くちびるからは、いつもカレーくさい息がはき出されていた。

韓国の代表は、同国の新聞界の大長老であった新聞研究所の所長さんで、日本でいえば、千葉亀次郎氏に相当する格の人である。

大衆的なオデン屋でいっぱいやりたい、という注文が出た。そこで同室の竹田洋ちゃんといっしょに、まず「タコツボ」を出発点として、数軒を案内した。日本育ちでほとんど韓国語を知らない「セブン」のヒデちゃんも、なにか心にとまっただようであった。

わたしたちにカネを払わせないので、はじめはつらい感じだったが、そのうちに、平気で甘える気になってしまった。

冬でもカジカを鳴かしているわが茅屋で、このカジカの声をサカナに泊ってほしい、とのぼくの申し出に、すぐ賛成してくれた。しかし、団体行

動中なのでできれば避けてもらいたい、という協会の意向で、残念ながらカジカの宴はお流れになった。

もうひとりの韓国代表は、セミナーが終わっても、神戸を去ろうとはしなかった。

専門記者の奥村クンの驥尾に付して、但馬の関宮町の山奥まで入って、「共同社会開発」の学習現場を見学したりした。

日本がアジアの諸国へ、今後いろいろな援助の手を差しのべるにしても「経済援助」というのは、どうももうひとつピンとこない感じだ。

「モノ」による援助は、悪くすると、先方をかえって怠けものにしてしまう、といった逆効果さえ考えられるのではないか。

「援助」とはいつでも、先方の主体性を伸ばすものでないと意味がない。いつてみれば、それを参考にして、先方で応用がきく。こうしてやる気を、いっそうかき立てるものでなくては、折角の好意も仇になる恐れがある。

この意味では「社会開発」のセミナーというのは、ドンピシャリの贈りものといえそうである。「モノ」の援助でなく「方式」の援助である点がミソである。

そして、なにをするにせよ、こうした開発途上国では、「開発」と結びつかないものは、なにひとつとして考えられない。その開発を、どんな「方式」で進めるかによって、効果のうえに、ときめんに大きな差が現れてくることを思うと、もっとも贈りがいのあるのは、また「方式」だということになる。

# 生きる

## ほんとに生きるため

十河 巖  
随筆家

年をとればとるほど時間的に長く生きることと空間的に大きく生きること、そして質的にも深く生きるということがいっそう、単一なものに結合している。

長く生きても、ただ生きているだけではつまらないので生きる世界を大きくしたいと考えだしてできればまだ踏んだこともない辺陲の地を歩いてみたくなる。それではまだ足りないで、ヨーロッパ大陸や南アフリカの砂漠にまでも足をのびしてみたくも思いだす。

だが、いくら遠方へ旅行しても、内部へ吸収するだけの受け入れ態勢と、消化するだけの能力がなければ、テレビの外国駐在員が送ってくる報道テレビを見る方がはるかにましである。これら長く、広く、深くの三つが混然一体化して、生きるということになる。持ち時間の少くなるにつれて生命をよりいっそう大切にしたいと思う。

誰も生きたい。生まれてきたからには、ほんと

うの意味で十分与えられた生命の意味を果したいそれがためにはむろん金が必要である。ひちはちおいて旅に出る金をつくるにしても、ほんとに生きるためには前条件としてまず健康が求められる。健康というよりはもっと積極的な心身両方面のバイタリティを養うことが肝要である。

私は酒を節して小瓶以上のビールは飲まないことにしている。煙草は禁煙してしまった。ほんとうに生きるための戒律と想ってよしてしまった。

新聞社の編集室には紫の煙がうずまいてた。その記者生活三十余年の半分は禁煙で押し通した。それに麻雀に見むきもしなかった。やらないための損も大きい。だが、それによる得はほんとの得とは思えない。酒、煙草、麻雀はサラリーマンの三悪だが、これらを捨て去らない限りほんとに生きることはできない。しかし、これらは消極的な健康法だ。そこで、健康のためにどれだけ積極的な努力を払っているかが問題だといえるだろう。

終戦直後から今日まで二十三年間毎朝十分間ペンネット体操をやりつづけている。これは、私の先生で、同じアパートで生活していた畑敏三教授の直伝である。

この体操は一時アメリカ西海岸地方で大流行しその功徳をしるし、説明した朝日グラフ型の厚さ八センチの大部のペンネット体操の解説書がある。昨日ではあまり見うけられないが、健康指針として有名な本には、このペンネット体操がちゃんと詳しく説明されていた。近頃ではこのペンネット体操にヨガ式の訓練法をも加味している。それがウォーミングアップで、それがすむと、競歩をやる。海星病院の正門前から西に向って平地を三分間、大石川の橋の端っこをドンと踏みつけて回れ右して、病院前を通過し、坂をのぼって東に向う。六甲川の向橋に達すると、そこでまたもや回れ右して再び病院前まで引き返す。これで距離一キロ半で十四分間ないし十六分間かかる。年のことを考えて今年からもう少しスピードをおおしたいと思っている。

途中きまったように出くわすのが六甲教会から海星病院の修道院の礼拝の司祭をやりにくる頭が大きくて背の低い副神父さんである。会えば必ずお互に会釈をするのだが一言だけ挨拶がつく。

「大変寒いね」

「空が青い」

「涼しい風が吹く」

「気持ちいい」

お互いなんとか一言だけその日の感想をのべ合うことになっている。今朝は何をいおうかと貧しい英語のボキャブラリーから適当な言葉をさがす

それから同じように東を向いて登校する神戸大や外大の学生と肩を並べて歩くことがある。始業時間に遅れまいと思って登校を急ぐ学生の足は速い。こちらが速く歩けば先方はもっと速度をはやめる。こんな時には歩行速度はうんと縮まる。だが、あくまでも自分のペースを失わないようにしないと健康のためにはならない。

歩いているとこんな楽しみがある。

毎朝歩くコースはカナディアン・アカデミーの通学道になっている。可愛い外国の子供が近所の生徒といっしょにお父さんが運転する自動車で東の方から山盛り一杯で学校へ運ばれてゆく。この連中に会うと

「おいおじさん、ガンバレー」

などと口々に叫んで応援する。若い外人の子供だけに、はなやかでしかも景気がいい。こちらが手を振ると子供らも車の中で総立ちになって歓声をあげている。

また犬を運動させるお嬢さんと出合って会釈だけかわしていたのが、近頃ではだんだんと心安くなって、一言二言、言葉をかわすようになった人もいる。

病院前のスタート・ラインは水道のバルブの蓋である。ここに立って、時計の秒針をよく見定めながら歩行を開始するのだが、一キロ半も歩いて家に帰ると玄関の下駄箱の上においた記録表に、その日のレコードを記録する。

これにもほんの一行だけその日の感想を書きこむことにしている。去年の一月一日の記録に、「頗寒むけれど、背中ほこほこ」というのがある。競歩もこれで二年つづいている。

あなたの美しいヘヤースタイルと  
花嫁をつくる 美容室 エリザベス



**エリザベス**

畑尾 美久子

本店美容室 生田神社前新河南ビル2階 <33>8894  
 婚礼衣裳部 生田神社前(元本店美容室) <33>3258  
 三宮店 三宮神社山側三上ビル2階 <33>4917  
 芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅前 <2>4067  
 西宮店 西宮市阪急西宮マンション北館1階 <67>1294  
 美容担当 (東京初代逸藤波津子直流) 専属結婚式場  
 生田神社・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・住吉  
 学園・蘇州園他



きものと細貨

**おんがら屋**

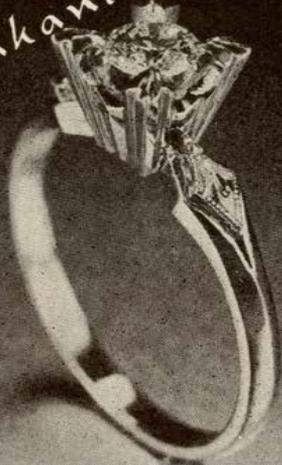
神戸

西店/三宮センター街・電話3 3-8836 (代)  
 東店/三宮センター街・電話3 3-0629  
 三宮店/さんちかタウン・電話3 9-4303

東京

銀座北店/銀座並木通り・電話573-5298 (代)  
 銀座南店/銀座並木通り・電話572-4847  
 渋谷店/東急本店 (京阪神銀座タウン)  
 電話462-3409 (直)  
 日本橋店/東急日本橋店 (5階和装名産街)  
 電話211-0511 (代)  
 (4階和装名産街) (内線294)

Nakanishiwa



宝石  
貴金属  
時計

仲庭

さんちかタウン (39) 4593  
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表  
梅田 阪急 前(御堂筋東側)  
(313) 0512代表  
桜 橋 毎日新聞社前(341)0412  
新大阪ステーションストア  
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

謹賀新年



O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693  
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

# 二十一世紀の都市・神戸

原口忠次郎 〈神戸市長〉

井植 歳男 〈三洋電機株式会社社長〉

司会／牛尾吉朗 〈ウシオ工業株式会社社長〉

牛尾 昭和四十四年度の神戸は、万国博を控え、港・空にわたっていろいろと問題のある年を迎えたのですが、この神戸が、新しい年を迎えるにあたって、いかにあるべきか、今後いかに発展すべきかを、港・空に生きる神戸としてお話し願いたいのですが。

★港・空に生きる神戸の飛躍は新春から

井植 神戸と港の関係は、神戸に育っている者にとって、一つの出合いみたいなものですが、現在では、その港が神戸だけでなく、海外的にも国内的にも中心になってきたと思うのです。これからは陸上輸送だけでなく海上の輸送も盛んになってくる。その中で神戸港が大きくクローズアップされる。最近、神戸と九州を結ぶフェリーポートが就航し、山陽道の交通緩和に役立っている。

また、神戸市の努力で須磨港ができがりつつある。すでに港に先がけて、淡路・須磨間に一二〇〇トの大型フェリーが昼夜を分かたず就航しているのです。このため神戸、淡路、四国が非常に近くなった。この種のフェリーが、神戸を中心に、大阪湾を縦横無尽に走るようになる。日本の大動脈ともいえる東海道は、名神・東名高速道路を通じての陸上交通で確保されているが、道路

の輸送力には限度がある。今度、神戸の第四工区を起点として、東京、神奈川を結ぶ大型フェリーが就航することになっているのです。このことによって、物資の供給が敏速、低廉になされ経済的節約ともなり、また最近問題になっている公害も起すことなく、交通革命に対処できるのです。

ポート・アイランドも着手され、神戸がいよいよ日本の玄関口として世界に飛躍できるのも、眼のあたりに迫ってきた。今年はそのスタートの着手の年だという感じがします。

牛尾 昨年度は、ポート・アイランド、空港問題、ポート・オーソリティ、明石架橋と、神戸の将来につながる大きなビジョンが平行して出され、一部は既に実行の段階に入っている。

この四つの大きなビジョンの上に、新たに商工貿易センターとか、北神・西神の街づくりが具体的日程となってきた。井植会長のいわれた、今年度がスタートの年であるということと照らしあわせて、今年の神戸の重点施策をお聞かせ願いたいですね。

原口 昔は、神戸から大阪まで港をつくるのが目的だったが、岸壁を東へ東へとつくっていても、肝心の事業



井植歳男氏

のセンターが動かない。これでは不経済になるので、港を集約的にすることから、現在の防波堤の外側につくることにした。これがポート・アイランドのおこりで、昭和四十年のことです。そこで、国から金を引き出すために、外貿埠頭公団をつくる計画をたてて、私が日本港湾協会の会長をしている関係で、日本全体の港湾の将来を考えて、京浜・阪神外貿埠頭公団をつくったのです。

現在では、陸上交通はある程度飽和点に達しつつあるしたがって、輸出入貨物取扱高も、昭和五十年には八〇〇〇万トとして計算しているが、現在の伸び方では、一億二、三千万トにもなるのではないかと思っております

★北神の団地開発整備と、西神の高速鉄道の構想の年

原口 地形的にみて神戸のようなところは日本にはない

東海道メガロポリスと瀬戸内海の水のメガロポリスの拠点でもある。しかも、六甲山の裏側には生活するのに非常に適した環境がいたるところにある。ですから、今年度は、北神地域の団地開発整備に力を入れることになっているし、西神地区では、山陽電車と神戸電鉄の中間に行く地域に高速鉄道を考えています。これらのものが、いよいよ緒につく年なのです。

港に関しても、コンテナ船が入ってくる時代になってガントリー・クレーンが二台もあるのは、神戸港だけです。これでコンテナ船に対する準備ができたのです。

牛尾 市長の在任十九年のビジョンが具体化される年とみていいわけですね。

原口 そういうことです。それから市民の皆さんに、注目並びに大いに期待していただきたいことは、商工貿易



原口忠次郎氏

センターの横に輸出品の常設館を県と共同でつくります  
これは、神戸が世界の貿易港の中心になるような展示  
場をつくるのですが、四十四年度の画期的な仕事です。

牛尾 井植会長は土地造成に関しては、お詳しいのです  
が、市長のいわれた北神地区の住宅問題、西神地区にお  
ける道路網の整備、こういう面で神戸を全体的にみられ  
て、神戸の開発の未来図はどうですか。

井植 市街地は、今年中にみちがえるほど立派に、日本  
中で一番整備された街になると思いますね。今後は、西  
神・北神地区における道路網の整備と、交通が問題にな  
るでしょうね。特にバスに関しては、まず市民の足の確  
保を基礎にして、健全な経済基盤を持ってほしいです。

★子孫に遺す我々の財産、ポート・アイランド

牛尾 市長の十九年の市政をみていますと、大きなビジ  
ョンをたてられて、神戸市は着実に未来に向って前進し  
ている。ところが、一般市民の立場からでは、どうも、  
港や橋の問題が前面にでて、実際に市政を担当している  
市長の日常の着実な歩みが理解されることが少ない。  
この点において、市民にアピールする問題を、この四十  
四年度にあたって考えておられますか。

原口 市長という行政は、今日の市民の生活を向上させ  
る、ということのために大きな予算を取ってなされてい  
るのです。ところが、これだけしているのは神戸市はよく  
ならない。今、神戸市に生活している人のことだけ考え  
て、小さな子供たちが大きくなった時、こんな街を我々  
に遺してくれたのか、と思うような街だったら困る。現  
に、大きな港があり、一万吨の船が入ると一〇〇〇万円



牛尾吉朗氏

井植 神戸の人は非常に幸せだと思うのです。それは、市長がたえず前向きな夢を与えてくれて、地に足がついて前進している。現在の日本には、現実には追われて夢がないですね。これではいつまでたっても楽しい社会はつくれない。この中で、市長は、夢を持ち、現実には言った言葉には絶対くることがない、という誠実な姿で歩んでおられる。これは、日常忙しくしている経済人からみると、ちょっと飛躍しているようにも思えるが、それだからこそ、これについていくべく勉強が必要だと思うのです。

日本の為政者は、着任すると伊勢に参らずに神戸市に参って貰いたいぐらいです(笑)

#### ★関西は、神戸の商工貿易センターが軸になる

牛尾 万国博を控えてこの数年に、新しい情報産業時代が迫っているのですが、今云われた商工貿易センターを中心にしての街づくりはどうですか。

原口 商工貿易センターは、それだけでセンターであってはならないのです。今連絡をとってすすめていることは、ニューヨークのポート・オーソリティがつくっている貿易センター、それに東京で松本学さんが推進されている貿易センター、それと神戸の貿易センター、この三つを世界の中心の貿易センターにすることです。神戸にすれば、世界のことですぐに分るような貿易センターにしたい。これが神戸市に貿易の中心があつてくる、という考え方です。

井植 関西は、神戸の商工貿易センターを軸にして動くようになっている。そのために、神戸高速道路にしろ、地下鉄にしろ神戸に集っている。新幹線で大阪へ十分、岡山へ一時間の距離です。

#### ★神戸の地形的利点が、セクシヨナリズムを解決する

牛尾 商工貿易センターという情報センターを設置して神戸が近畿の情報収集基地となった場合、大阪とか、京

の金が落ちる、そしてその金が全部の市民にまわりまわって生活にいくらか寄与している。この一万トの船が入ってくるこの港は、今の市民がつくったのじゃない。先祖が遺してくれたものです。そのおかげで、我々は生活しているのでしょうか。だから、今度は我々が、子孫に対して恩恵をこうむったものを遺して行こう、というのが私のビジョンなのです。

ところが、ポート・アイランドに一二〇〇億の金をかけてするより、うちの横の道を直してくれ、という不満があるが、この一二〇〇億の金は税金でなく、起債でまかなっている。これは子孫が払うべき金を先に借り入れているのです。明石架橋にしても、現在までに使っている金はきわめて僅かなものです。新聞や雑誌では、私のこと、橋とか、ポート・アイランドの問題でないと出してくれない(笑)

#### ★地元の経済人は、将来への飛躍のための勉強を

牛尾 今まで神戸の経済界は、市長がビジョンをうちだされるのに対し、傍観者的立場にいたのですが、ここで井植会長から、神戸の経済人は四十四年度にはこうすべきだ、というお話をだしていただきたいのです。

都とかのセクシヨナリズムというか、その行政問題が心配ですね。

原口 それはこれだけ大きい港を持っていますから、私は自然に神戸についてくると思います。ただ現行港湾の問題に限っていても、セクシヨナリズムは大きな弊害ですね。将来は、海、陸、空の運営をポート・オーソリテイで統合することです。これは、ニューヨークでは、すでに四八年前にできています。これは、ニューヨークでは、区画、機構が障害になっていますね。このことは国民全体の考えるべき問題だと思ふ。

井植 大阪府と兵庫県の境の猪名川に橋がつくられていたので、大阪側と兵庫側で、橋の真中で一米ほど幅がちがうのです。これには驚きました(笑)ところがその橋は、完成する前に大水で流されたので、後世に恥を遺さなくてよかったです(笑) これをみても判るようように、大阪湾を一体となって仕事をすすめるのは、非常に能率的な案・機構が必要です。

原口 そういう場合、最終的には地形的利点がかならずものをいう時が来ます。神戸に陸揚げされた荷物は、直ちに高速道路で名古屋にでも持っていける。大阪ではそれができないのです。片方では商工貿易センターがあり陸揚げすると岸壁から高速道路に入れるのは神戸だけです。

### ★二十一世紀の理想的近代都市は神戸の海上都市から

牛尾 結論的に云って、神戸はポート・アイランドがで、国際港都としては完全なものになる。それに加えて国際空港が予定され、極東及び世界各地との通信網ができる。情報センターとしての商工貿易センターができる。となると、神戸市は、ある意味では西日本の中心ですね。原口 瀬戸内海は一連の首飾りなのです。山陽道ならびに四国における工業地帯が一つ一つの珠ですね。その一番根元が神戸です。その意味で神戸市が西日本の中心的位置にあるわけです。

空港ができるとなると、空港への住宅地は今後かなり必要とされる。そして大阪の真中にその住宅地はとてできない。どうしても六甲山の裏に眼がつけられる。淡路の国際空港へも、大阪のビジネス・センターにも行ける、という地形が利点となるのです。必要な交通網をつくっておれば、将来の神戸の発展は、西日本の中心としての発展をとげる。今まで大阪が中心だったのは、大阪に平野があったからです。神戸は山が障害となっていたが、現在ではすでに山は克服された。山を克服し、瀬戸内海の交通を克服すれば、かならず神戸が西日本の中心となる。地の利で自然にそうなるのです。

牛尾 理想的な近代都市の出現ですね。

原口 二十一世紀の都市をポート・アイランドにつくって手本を示そうとしているのです。二十一世紀の街の姿はどうなっているかを示したいのです。その構想は現在調査の段階ですが、たとえば歩く舗道など、車道ならびに高速運輸機関の問題があります。

牛尾 理想的な近代都市にすすみつつある神戸市民は、神戸に対して大いに誇りを持たないといけない、ということになりますね。

△文責・編集部V

### ★関西情報総合雑誌

オール関西 新年号 190円

特集／新しい日本列島

座談会・鎌倉昇・水谷顕一

諸岡博熊・能村龍太郎

特集／息づく大阪―千日前

好胤対話／青年の担う明日の日本

高田好胤・石原慎太郎

新連載／現代不思議探険(1) 奇術

織田正吉

小説／逃げた・島京子

三洋新人文化賞 文学部門受賞作品

三洋新人文化賞(第十三回)発表

絵画部門・下谷千尋

発行所／大阪市北区曾根崎上二丁目三〇八・八千代会館  
オール関西編集部(三一二)二六三五

## 経済ポケット

### ジャーナル

#### ★川崎重工で

第一とよた丸 竣工  
第二とよた丸 進水

川崎重工神戸造船所で昨年9月に進水、11月に竣工した自動車兼ばら積運搬船「第一とよた丸」（二、六〇〇総トン）が北米航路に就航したのにひきつづき、12月6日に姉妹船「第二とよた丸」が同造船所で進水した。

両船はトヨタ自動車販売の輸出専用船で、川崎重工と西ドイツのブロム&ボス社との技術提携によるカーデッキシステムの採用により、往路はトヨベット・コ罗纳級の自動車約一、二五〇台を搭載、復路には穀類や石炭の運搬も可能になっている。

ちなみに、トヨタ自販の最近の輸出台数は月間二万



第一とよた丸



台を超え、昨年度の輸出実績は二十八万台。本年度は国内需要の伸びなやみもあって三十五万台の輸出を計画している。

#### ★神戸青年会議所 社団法人に改組

神戸青年会議所は、11月22日、オリエンタルホテルに於て定時総会を開き、社団法人神戸青年会議所設立申請の件、並びに社団法人設立に伴う定款変更一致の件を、それぞれ満場一致で承認し、続いて昭和44年度の新役員を選出した。

過去に於て、何回も社団法人への改組がとりあげられたが、設立手続きが煩雑なため見送られてきた。ところが、神戸J.C.の活動分野は益々対外的に広げられ、日本J.C.の要望もあって、今回の議件となり、この承認をもって、昭和44年度から社団法人として出発することになった。

社団法人となつての利点はいろいろあるが、それにとりまなう義務も生じ、神戸J.C.は名実ともに、神戸経



挨拶する新理事長

済界の土台石となる。なお、昭和44年度新役員として、理事長に滝川博司氏（兵庫トヨタ自動車KK取締役）を選出した。

滝川氏は挨拶の中で、神戸J.C.は11年をむかえ、社団法人としての第一歩を踏みだした。ここで役員並びに全会員諸氏の支援のもとに、一層の飛躍と発展の責任がある、と抱負を述べた。

#### ★高速道路 神戸二号線の案なる

神戸市都市計画局では激増する市内の交通量に対処するため、高速神戸二号線

を計画、12月3日神戸市山手高速道路技術委員会（会長、武居高四郎京大名誉教授）を設立し、同計画について諮問した。

現在、市内の一日の交通量は十五万台、しかし、五十年には三十万台を超すものと予想され、現在の道路事情ではさばききれなくなるため同計画の作成となった。

同二号線は計画によると芦屋市境から明石市境の市内部約二十九・六キロで一号線と同様一本足の高架道路で四車線、幅員一九メートルで在来道路の上にかけるようになっていた。また、原田以東は幅員がせまいため、上下各二車線のダブルデッキが計画されている。

従来の平面都市から脱皮して、立体的な都市づくり都市の再開発は高速道路の建設からということ。高速二号線は大きな意義をもっているといえる。

#### ★KOBEオフィスレディ★



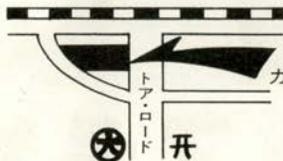
浜田 和子さん(23)

兵庫日産自動車KK秘書室勤務

明るく感じのお嬢さん。明るく積極的な仕事ぶりには、上司のかたがたも絶大な信頼を寄せておられる。神戸生まれの神戸育ち、お母さんから教わった料理が得意とのことだが目下、お嬢さんを募集。野田高校卒 兵庫区御崎町在住。



インテリアデコレーション  
合鍵と錠前



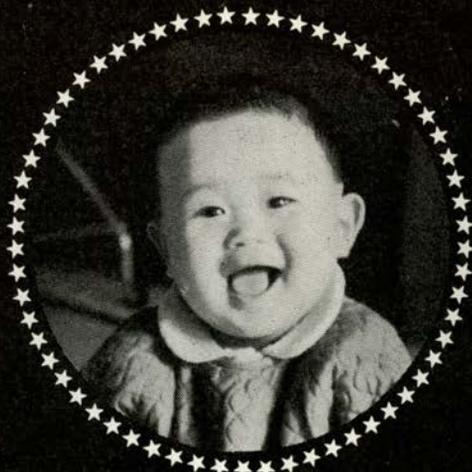
カギ屋金物店

KOBE 三宮・トア・ロード ☎ 0193-6507

**カギ屋金物店**

OSAKA 心齋橋そごう地下一階

こんにちは赤ちゃん



東灘区の川島徳彰ちゃん

完全看護★暖房完備★病院前駐車可能

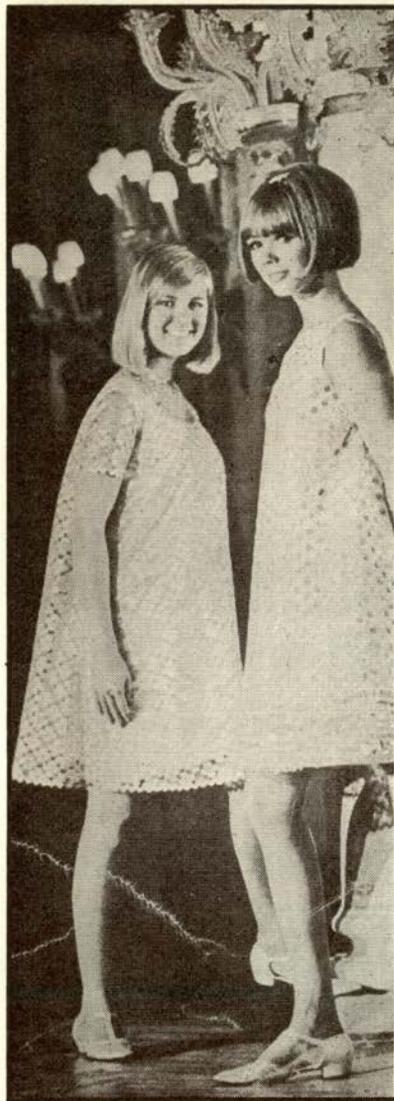
苜屋 柿沼産婦人科



苜屋市大栴町9番地

国道苜屋川電停東50米(明治生命南)

☎ 苜屋 (0797) 2-2139・2-4087



神戸っ子のセンスを生かす

\*服飾  
**KEI**  
の店

神戸・大丸前 服部宝生眼鏡店2F  
大阪・堂島船大工町 日昭ビル1F  
(344) (33)  
6 7  
3 5  
1 5  
2 0  
1 3

a  
happy  
new  
year

- \*ランジェリー
- \*ブラウス
- \*セーター
- \*ワンピース
- \*スーツ



*Giya* **スギヤ**

トア・ロード市電大丸電停前  
TEL (33) 3 4 3 6  
六甲店・阪急六甲駅  
TEL (87) 2 7 3 1 (呼)

自然が育てる貼絵の世界

# 明舞団地



自然の恩恵にあふれる明舞団地。  
手前の棟は、右から青陽養護学校、西舞子小学校、舞子中学校。

国鉄の朝霧駅は閑散としていた。午前十時三十分。降りたのは二人、乗るのが子供連れのおばさん一組。坊や気を付けて。南からの陽光が、まぶしい程に駅に映え、南に山陽電鉄。国道2号線、8号線を通る長距離トラックの屋根がキラリと光る。海は鏡となって淡路島に通じる。ポンポンと漁船がシルエツトで光の場に浮かぶ。朝霧駅長は開口一番、こう始めた。小波が窓を揺がす。「ほんまにええとこです。眺めはええし、空気はうまいラッシュ時？そんな大したことありません。朝は七時三十分から八時ぐらいがピークで、まあ二〇〇人ほどです。それでも電車はその間に5本ありますから」

駅の前は駐車場、バスのりば、タクシーのりば、と実にゆったりしているが、人はいない。車は七十台ほど。「明るい駅が誰一の自慢ですな。加古川線の駅長の頃と較べるとガラッと違います。台風十三号の時は、ここまで波しぶきがあがりました。すぐに錆びよりますワ」

駅から海を背にすると、二十メートル幅の幹線道路が、遠く訪ねる団地の階屋への通路のように上っている。左手に二台のショベルカー。この眼前の広大な起伏は、以前は何だったろうか。歴史は土砂と共に捨て去られるのか。「昔は群集古墳があって、いわゆる忌地とされていたのですよ。今でも近くの社に、壇の浦での合戦の兵士の亡霊がでるといふ噂がある。ちょうどこのあたりは、地域的には垂水区舞子町、多聞町、及び伊川谷町の各一部と、明石市大蔵谷の一部で、明石・舞子間の朝霧駅から

風船をふくらましたような位置ですね。昭和に入って、この土を瓦粘土として多数の業者が掘り荒したのです」

兵庫県の住宅開発課、藤井稜平氏は、明舞団地の前住民について話をすずめる。

「現在は、岡山県の畳表に使うい草のつや出しの泥として使っているようですね。これが明石の染め土です」

明石染土という会社がある。現在でも冬期は、淡路の農民、漁師が出稼ぎにくる。北に近代建築の明舞団地、南に故郷の淡路を見て、冬期六カ月のカラッ風にさらされる心境はどんなだろう。

### ★街をかたちづくる人間臭さも建設途上

明舞団地の中央に、文字通りの中央近隣センターがある。中には診療所があった。日の当る方角に位置して。

「俺だって看者や。病人や。病人が腹が痛いいうて、どこに文句がある。ええ格好すると、こんなとこ、いてまうぞ。どないやねん。返事せえへんのか」

「どうぞお静かに。他の方に迷惑がかかりますので」

「何をノ迷惑やと。そんなら俺の方から先に診ろ」

明舞団地は建設中の街だ。街をかたちづくる人間臭さも建設途上だ。垂水署の明舞派出所の警官は、こともなげに言う。

「なあに、事件？ 空果ぐらいのもですワ」

団地の中央に来たところで、数字の魔術を紹介する。

明舞団地とは正式に明石舞子団地。新住宅市街地開発法にもとづく宅地開発事業の対象区域。昭和三十九と四十三年度の開発期間で、総開発事業費は、約七十四億。計画人口、約三万四千人。計画戸数、八千五百戸。面積、一六一、二haとなっている。

昭和四十三年十月現在、四〇三四戸が建設済であるから約半分であるが、実際に見るとそれ以上に多い。それは、団地の東北部に約千戸の西舞子団地があるからだ。

これを除いて、明舞団地の区分けは、建設計画数で、公営住宅、二三〇八戸、公団住宅、二七四二戸、公社住

宅、二〇一四戸、独立住宅、一〇三六戸、厚生年金住宅三二二戸。そして、この配置図を、大ざっぱに言えば、中央の幹線道路沿いに公団住宅、その両側に公社住宅と公営住宅を配置、法面にさしかかる外環に独立住宅が位置していることになる。

地図を片手に何度か団地の中を歩いた。日照りはさほど強くないのに私だけが「異邦人」と感じたのは何故だろう。勝手知ったる路地がない。顔見知りの人がこないただそれだけだろうか。

中央近隣センターには五十八の商店が入り、そのうち四十世帯ほどが十二階建てのセンタービルに入居。高級住宅地の中にクリーニング屋があり、産姿の看板がある

「まあ、日常のものは何とかが買ってくれます。でも、日曜日は皆さん、明石や神戸まで買物に出られますな。私ら、お客さんの台所まで入りますから、それぞれの家の状態がよく判ります。苦しいところもありませ。そらあ団地ですから外見からでは判りません。それだけに、きりつめるとなるとまず食物ですワ。ああ、あの青空市場どないいなりまへんか」

青空市場ができたのは、今年の五月頃、北部県営住宅の敷地内である。野菜類に、魚・肉・くだもの。安くて新鮮であるとの住民側の歓迎で、悪くいえば居すわり。

「わしは西明石から来とるで。まあ、お客さんによることでもらえさえずりや。そらちゃんと移動店舗の許可をそこにありまっしゃろ。それです。商店会はんのいうことも判らんではないが、わしらも商売ですさかいにな」

兵庫県は、「県の敷き地内での出店禁止」のお達しを出したが、その後ますます繁盛している。

### ★明舞団地では、神戸は午前の遊び場だ

青空市場の南に松ヶ丘公園。明舞団地の地図を描いた時、荒れ残っていた僅かの松と丘。松並木が、そこだけ風を抱く。「ほく、どこに住んでるの」と問いかけると、四つぐらいの坊やが「あそこ」と指さす。確かに坊やは

重なりあう七棟ほどの一部屋を指さしているのだろう。「いつも、ここで遊ぶの」ううん、神戸が陰げになったから明石に来たの」地図を見て気が付いた。

幹線道路は、神明道路を北に横切っている。この南北線が、神戸と明石の市境。神戸は午前の遊び場だ。

「電話を申込むと、明石なら三月でつきます。神戸市側では、まあ三年ですな。水道料金も、固定資産税もちがいます。しようがないことでしょうか」

しかし、このことは、神戸側に市立の幼稚園がない、ということの問題となった。

「同じ団地なのに、明石側には公立幼稚園があるのよ。不平等だと思わない？ 私立の幼稚園があるからそれにしろ、と言われても、経済的な面で困る家庭もあるワ」

この要求を神戸市の施設課に持って行くと、

「気持は分かるが、住民の総意からとは思われない。それに、たとえ総意にしても、明舞以外の地域で設置すべき場所がたくさんあってどうしようもないんです」

この問題は、西舞子、泉宮明舞、公団自治会の組織力の弱点をついているようにも思われる。明舞は一つの街なのだ。何丁目何番地の町内自治会ではない。

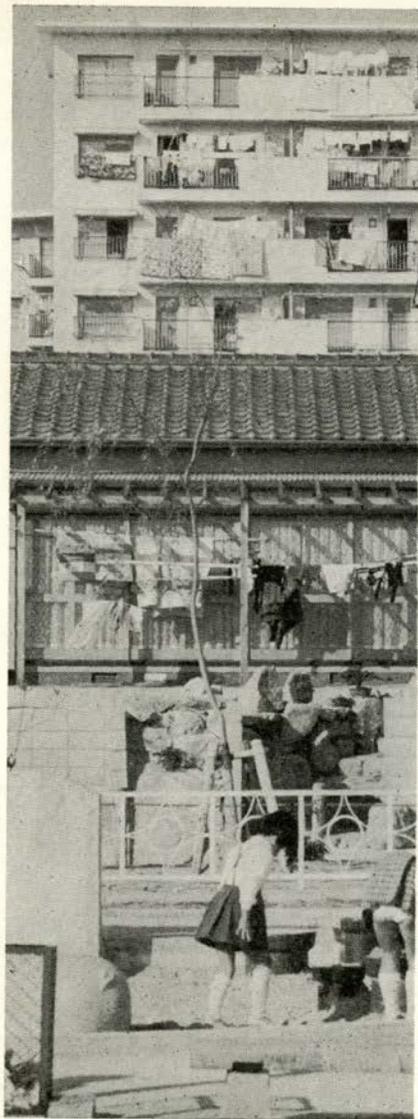
明舞団地の中の公団住宅。これは3Kで家賃一二八〇

〇〜一四一〇〇円。入居資格は家賃の四倍以上の月収があること。公社住宅。これは、住宅金融公庫融資付、サラリーマン分譲住宅で、4DK。分譲価額は、三六四万円〜五百万円。しかし、これが県営住宅となると、家賃は昭和四十二年度分で四八〇〇〜七五〇〇円。比較までに昭和三十九年度、西舞子テラスでは家賃三〇〇〇円。このほかに県の住宅管理課でおこなう宅地分譲がある。四十三年、十一月二十九日締切の第三工区Bについて述べると、一般募集が二十三区画。倍率、驚くなかれ八四・八倍。分譲価額二百万円〜三百万円である。

この現状は自治会に当然反映してくる。ある団地の自治会長はこう言った。

「自治会いうても知れてまっさ。今は、私とこの県営住宅の敷地内のことで頭がいっぱいですし、実際、まだ隣に家が建ちよるんですからな。無関心なんが多いからというて、別に悪くいえまへん。まあ、当面は幼稚園のことで頑張ります」

団地の棟は、表と裏とでは全くちがう。赤やピンクやオレンジ色が、どの団地の部屋にでもかかっているのが



明舞団地は、平面でも垂直でも複合体である。

みえるし、シーツの白さまで同じだ。しかし、裏では、階段にある上下の区切りと、便所の小窓が無愛想に並んでいて、入口にはきまって三輪車と軽自動車があった。子供たちはドッチボールをしていた。

センタービルの十二階にあがると、神明道路の北に造成中の宅地と、遙か北西の方角に学校らしきものがみえる。給水塔だけが高い。センタービルを降りて東へ坂を下ると、真白な鉄筋の学校が三棟あった。一つは青陽養護学校。それに西舞子小学校、舞子中学校だ。運よく、西舞子小学校の松谷典次校長に会える。

「四十二年度から開校したばかりです。ピラミッド型の生徒数でして、一年生が二八八人、六年生が八十六人です。昨年の九月に四百人ほどの転校生がありましてね、それは大変でした」

観葉植物が息苦しく、まるで温室のような校長室だ。舞子中学校でウロウロしていたら、子供ともども丸坊主に刈りあげた親爺さんにつかまった。

「転校の手続きをしたいのですが……」

聞くと、団地の東、狩川川の東の方面に移ってきたばかりのトラックの運転手ということ。その法面は、家々で緑がすでに消えかかっている。

再び松ヶ丘ビルに戻る。バスが着くが降りるのは、おばさんかおばあさん。それに子供がついている。中央センターの公園の上を、団地から団地へ、商店街から松ヶ丘ビルへと縦横に歩道橋がある。その下で、学校を終えた子供が自転車に乗りまわしている。休暇を取ったのかパパが赤ちゃんのお守りをしている。

松ヶ丘ビルの一室では、木彫の集会所が終って帰る奥さんたちで賑わっている。

「住吉の間アパートにいたのですが、家賃が一万二千円でした。子供も女の子ができたし、この辺でと考えて申し込んで、三回目に当りました。とにかく環境がいいですからね。それが子供に一番です。ええ、よく訪ねてくれる人もありますワ」

#### ★白壁が苔蒸して団地の個性が生まれる

団地の夜は、幾何学を想い出す人には、嬉しいほどの美しさを持っている。幼児の拙ない赤と青と黄の貼絵といってもよい。クロスワードのパズルの様だ。バスが着くたびに、黒と濃紺の背広の群がどっと降りる。走る者はいない。黙々と家路をさしてゆく。目標？ 歩道橋を右に曲って、そして最初のクロスで左に曲り、広い道に出たらそれを直進する。そこで僕の「家」がみえる。何号棟？ そんなことを聞くのは君だけだ。無数の灯り？ 冗談じゃない。ほら、あそこに家内と、坊やがいる。そんな家路のいそぎ方。

黒い人影が消えた頃、家々に灯がともるわけでもなくただ帖絵が迫るだけ。午後九時四十二分。タクシーのライトと坂をあえぎ上る排気ガスにも何も微動だにしない下り坂にかかって、帰路の時間を想い出す。何も咬いてくれない暗闇に、校長先生の声が返ってくる。何も咬いてくれない暗闇に、校長先生の声が返ってくる。何も咬いてくれない暗闇に、校長先生の声が返ってくる。

一団地いうもんは、何十年も経って白壁が苔蒸すようにならんと、性格なんてでてきませんわ。

宅地分譲、サラリーマン分譲は、十年間は他人に譲渡できない。となると、十年後の明舞団地は、人の息吹きで苔が生えているだろうか。

一十倍もの競争率で入って、仕事の都合ですぐに出て行く人もありますな。

松ヶ丘公園で一緒に遊んだ坊やは言った。

「おじちゃん、明日また来てくれる。」

「ううん、明日は来ないよ。」

「それなら、お正月に来てね。」

子供はどこでも、誰でも、人を待っている。そのかわい顔に、松の緑と、この甘い空気と、つきぬける空とその空から降りそそぐありあまる陽光、そして、子供の夢を育てる海の神秘と、淡路の鳥影。これらが、平等に本当に数字に関係なく平等に与えられている。

# A HAPPY NEW YEAR

ゴンチャロフを今年もよろしくネ!



チョコレート\*キャンデー

## ゴンチャロフ

本社 神戸市生田区加納町4の1 TEL(99)-2636  
直売店 さんちか・スイーツタウン TEL(99)-3563

—賀 正—



## 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(92)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(99)1874~5

KOBEセンスを生かした  
信用と伝統の店



▷ゴルフコーナーには、No.1のダンロップ用品を中心にあらゆるゴルフ用品がそろっています。

▷タカハシのオリジナル・バッグコーナーは定評があります。



バッグとゴルフ用品の店

**タカハシ**

神戸・元町3丁目 TEL 33-1172・7782

'69輸入フレーム新着入荷

しゃれたセンスのメガネを  
豊富に取揃えております



- \* 世界最高のカール・ツアイス社製  
メガネレンズ、オペラグラス、双眼鏡
- \* 弱視眼鏡、補聴器、光学関係  
の事ならなんでもご相談下さい

★

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

**服部メガネ店**

大丸前 TEL (33) 1123